

小樽市立手宮中央小学校 学力向上改善プラン

1 実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 児童の実態

昨年度の標準学力調査（2～5年）では、すべての学年の多くの項目で目標値、全国平均を下回り、学年が上がるにつれて全国との差が大きく開いていた。学習内容が未定着なまま次の学年に上がってしまう児童がおり、進級するにつれ増加傾向にあることがみてとれる結果であった。また、後半問題に無回答率が非常に高く、時間内に解いたり仕上げたりすることにも課題があった。

昨年度末の改善プラン検証でも、3年生以上では国語算数ともに定着目標の8割に達しておらず、引き続き低学年からの基礎・基本のより確かな定着が求められる。きめ細やかな配慮や補充指導・個別指導の充実に加え、家庭学習や基本的な生活習慣の確立に向けて家庭や地域とさらに連携を強めていく必要がある。

3 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

| 学年 | 定着目標 |
|----|---|
| 1年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・つまずかずに読む。 |
| 2年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読む。 |
| 3年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読む。会話文を工夫して読む。 |
| 4年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・句読点に気をつけて、つまずかずに読む。会話文を登場人物の気持ちに合わせて読む。 |
| 5年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りやすい速さで、つまずかずに読む。地の文、会話文を意識して読む。 |
| 6年 | ・漢字を正確に読み、8割以上書くことができる。 ・聞き取りやすい速さで、つまずかずに読む。心情を工夫して読む。 |

<算数科>

| 学年 | 定着目標 |
|----|--|
| 1年 | ・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算ができる。（定着8割） |
| 2年 | ・九九をすらすら言うことができる。（定着8割） |
| 3年 | ・かけ算の筆算ができる。（2・3位数×2位数） ・小数、分数のたし算、ひき算ができる。（定着8割） |
| 4年 | ・小数のたし算、ひき算ができる。（定着8割） ・小数と整数のかけ算、わり算ができる。（定着8割） |
| 5年 | ・小数のかけ算、わり算ができる。（定着8割） ・分母の異なる分数のたし算・ひき算ができる。（定着8割） |
| 6年 | ・分数と整数、分数の同士のかけ算、わり算ができる。（定着8割） |

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

| 学年 | 定着目標 |
|----|------------------------|
| 1年 | ・20分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |
| 2年 | ・30分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |
| 3年 | ・40分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |
| 4年 | ・50分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |
| 5年 | ・60分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |
| 6年 | ・70分間の家庭学習 音読 基本的な生活習慣 |

4 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①算数の授業における、習熟度別少人数指導・TT指導の実施
- ②手宮中央小タイムでの書く活動・読み取りの活動の取組
- ③高学年における教科担任制の導入・継続
- ④放課後及び長期休業中の補充学習

(2) 授業改善を図る校内研修の取組

- ①各学年における「見方・考え方」を系統的に指導
- ②子どもに働かせたい「見方・考え方」を逆算して授業構成を工夫する

(3) 望ましい学習習慣・生活習慣を形成する取組

- ①家庭学習の手引きの配付 家庭学習の充実
- ②毎日の音読 宿題
- ③家庭学習ノートなど異学年の学習の取組の交流
- ④各家庭でテレビ視聴、ゲームをする時間についてのルール作り

5 実施計画

| 年月日 | 計画内容 |
|-------|--|
| R6年4月 | ・チャレンジテスト前年度問題の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・家庭学習の手引き配付 ・放課後学習 ○R6全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自校採点 |
| 5月 | ○標準学力調査実施（第2学年・第3学年・第4学年・第5学年） |
| 6月 | ○標準学力調査結果分析 |
| 7月 | ・手宮中央小タイムの実施 ・1学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・チャレンジテストの実施 ・児童アンケート、保護者アンケートの実施 |
| 8月 | ・夏季休業中の学習会 |
| 9月 | ○R6全国学力・学習状況調査結果分析 |
| | ・地域公開日（土曜日）、学校説明会 |
| 10月 | ○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善 |
| 11月 | ・個人結果の説明 ・2学期のまとめ、ふりかえりの実施 |
| 12月 | ・チャレンジテストの実施 ・児童アンケート、保護者アンケートの実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 |
| R7年1月 | ・冬季休業中の学習会 |
| 2月 | ・3学期のまとめ、ふりかえりの実施 ・確認テストの実施 |
| 3月 | ○新学力向上改善プランの作成 |

* 随時、評価と改善を行っていく。 * 3学期末に学年のまとめを実施する。

6 評価方法

(1) 基礎学力の確実な定着について

- ①単元テスト・チャレンジテスト・学力調査の実施
- ②国語・算数等の「確認テスト」の実施

(2) 授業改善について

- ①全学級の授業公開
- ②校内研修における改善方法の交流

(3) 望ましい学習習慣・生活習慣について

- ①児童・保護者アンケート
- ②保護者説明会の実施